

第6回亀岡市景観審議会開催結果の概要

- 1 開催日時 令和6年1月26日（金） 午後1時～2時45分
- 2 開催場所 亀岡市役所 別館3階 会議室
- 3 出席者
出席委員 10名（五十音順）
尾崎委員、小林（晴）委員、小林（正）委員、櫻井委員、内藤委員、
永松委員、深町委員、宗田委員、森本委員、湯浅委員
- 4 議題
 - ・ 亀岡市景観審議会 会長選出について
 - ・ // 会長代理指名について
 - ・ 報告事項
 - （1）亀岡旧城下町地区における「まちづくり」の取り組み
 - （2）都市景観形成地区（篠町篠企業団地地区・亀岡駅北地区）の現状
- 5 資料
 - ・ 委員名簿・・・別紙1
 - ・ 議事次第・・・別紙2
- 6 議論内容
 - ・ 第6期亀岡市景観審議会 会長選出について
亀岡市景観条例（以下、条例という。）第32条第1項の規定に基づいて、事務局一任により、事務局案を提示、承認。
⇒宗田好史氏を選出
 - ・ 第6期亀岡市景観審議会 会長代理指名について
条例第32条第3項の規定により、会長が指名
⇒櫻井俊則氏を指名

・報告事項

(1) 亀岡旧城下町地区における「まちづくり」の取り組み

- ・当該地区の通りでは、石畳や土色・緑色の舗装を設置しており、恒常的に補修を実施している。
- ・伝統的建造物等を宿泊施設に利活用するなど民間活力を活用した経済効果のある保全を推進する検討や仕組みづくりに力を入れてもよい。
- ・京都府建築士会で実施したまち歩きイベントは人気で、城下町への興味関心が高いと感じた。
- ・旧城下町地区の伝統的建造物を公開するような取組を検討されたい。オープンガーデンなど既存のイベントを活用することを考えられたい。
- ・旧城下町地区をPRするソフト面の整備も必要である。

(2) 都市景観形成地区（篠町篠企業団地地区・亀岡駅北地区）の現状

- ・牛松山の眺望の維持、曾我谷川周辺の景観・自然を重視する取組を検討、実施すべきである。
- ・田園風景との調和、人の営みを感じられる町並みという点で、住宅地の緑化は大切な要素であるため、景観計画等の基準に従い、緑化に努められたい。
- ・駅北地区の地価など建物が建設される条件についてどう評価していくのか。
- ・篠企業団地では、食品系企業の立地が4件あり、亀岡市内における出店や取組を期待する。
- ・駅南地区は夜間に光がなく暗い。駅から南郷公園の光秀像までのストリートラインは景観的にも重要なポイントで、そこから旧城下町地区へつなげていくのが観光課題でもある。
- ・町中にごみが落ちていないという美点に市民が気づき、それを訪問者等にも普及させていくことが町全体の景観や住民意識を向上させていく。